

お知らせ

Information

年末年始のセキュリティ対策

——年末年始の休業期間におきましては、
情報セキュリティ対策に十分ご注意ください。——

- * 不要のコンピューターの電源は、休業期間に入る前に確実にオフして下さい。
- * 休業期間中、ノートPCなどを学外でネットワーク接続される場合は、ウイルス対策を確実にを行い、業務再開後の学内感染の原因とならないようにご注意ください。

センター閉館情報

——年末年始、総合メディア基盤センターは、
以下の期間閉館します。——

2009年12月28日～2010年1月3日

- * 基幹ネットワーク、各種認証サービス、総合メディア基盤センターの提供する各種ICTサービスなどについて、停止期間が発生する場合は、別途、本センターホームページやアカンサスポータルにてお知らせします。

アカンサスポータルへのアクセス

——学内情報は、アカンサスポータルから——

- * 授業の休講・補講連絡から、学務係からのお知らせ、各種研究会・研修会の開催案内、そして緊急時の連絡など、学内情報の取得はアカンサスポータルが便利です。
- * アカンサスポータルへのアクセスは、

<https://elearn.el.kanazawa-u.ac.jp/Portal/>

のURLに直接アクセスするか、
右のQRコードをご利用ください。

- * 金沢大学IDの発行・再発行は、
FD・ICT教育推進室（総合教育1号館511号室）までご連絡ください。



K.U.-I.M.C.
INFORMATION MEDIA CENTER OF KANAZAWA UNIVERSITY



金沢大学 総合メディア基盤センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL.076-234-6910 FAX.076-234-6918

imc-jimu@ml.imc.kanazawa-u.ac.jp

<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp>

info.Core PRESS のバックナンバーは、
総合メディア基盤センター Web サイトからご覧いただけます。

info. Core No. 14 PRESS

2009

12
December

» 総合メディア基盤センター
3部門最新活動・研究紹介

» 新任スタッフあいさつ

» C-SIREN ~緊急時メール配信・連絡システム~

» お知らせ

- ・年末年始のセキュリティ対策
- ・センター閉館情報
- ・アカンサスポータルへのアクセス

金沢大学 総合メディア基盤センター
情報誌

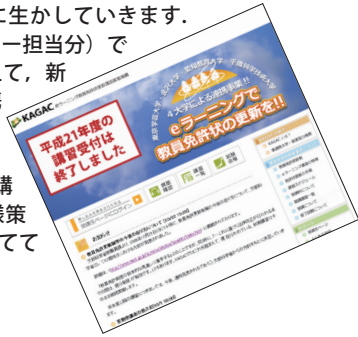
情報教育部門

Division of Information Education

ICTの教育への活用

情報教育部門では、ICTを広い意味で教育に活用するための研究及び事業を進めています。今年度は教員免許状更新講習のeラーニングによる実施に協力しました。これは私立大学も含む県外3大学（東京学芸大学、愛知教育大学、千歳科学技術大学）と連携して実施した事業で、全32科目の講義を夏期・秋期の2回開講し、のべ5,000人近い受講者を受け入れました。この受講人数は6月の文科省発表でもトップクラスでした。このように大きな規模で実施されるeラーニングから得られた知見を、今後のICT活用教育に生かしていきます。

また、情報処理基礎の授業（当センター担当分）で毎年実施されているアンケートに加えて、新入生に購入してもらっている教育用携帯型PCに関するアンケートを行いました。これらのアンケート結果は、次年度の情報処理基礎の教育内容、購入してもらった教育用携帯型PCの仕様策定とそれらの活用方法の研究等に役立てていきます。

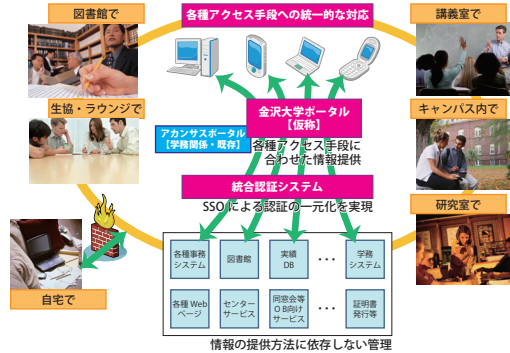


学術情報部門

Division of Academic Resources

全学統合認証システムと全学ポータル構築

現在、「アカンサスポータル」は、大学からのお知らせ、授業情報、就職情報、図書サービスなど、学生の教育にかかわる各種情報提供を中心にFD・ICT教育推進室の運用・管理の下で活用されています。これに対し、私たちは情報戦略本部の下、大学の全構成員を対象としたシステムに拡張するため、ポータルシステムを介して、研究・業務にかかわる情報も統合的に活用できるように設計・構築を進めています。改良システムは、来年度初頭には皆様に公開できる見込みです。



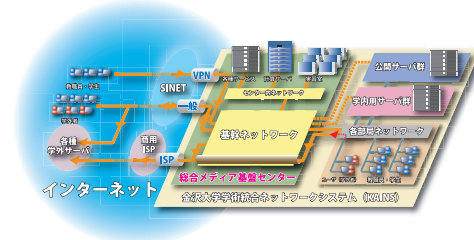
情報の提供方法に依存しない管理

情報基盤部門

Division of Information Infrastructure

KAINSの再整備について

金沢大学の学内ネットワーク KAINS も、インターネット接続が開通してから20年が経とうとしています。この間、性能や安定性の向上のため様々な整備が行われてきました。しかし基幹ネットワークの抜本的整備は平成15年のギガビット化が最後であり、構成機器類にも老朽化の兆しが見え始めています。この状況を鑑み、総合メディア基盤センターでは、情報戦略本部の方針に基づき、基幹ネットワークの再整備に本年度から着手しています。本年度および来年度は、各建屋の基幹スイッチおよび対外接続系の再整備を主に行い、次期中期計画期間中にIPv6網に代表される新技術を活用した次世代ネットワークシステムを構築し、安全・安心かつ利便性の高いネットワーク利用環境の整備を計画しています。



利用者の皆様にはご支援のほど、よろしく願います。

新任スタッフあいさつ：森 祥寛 助教

4月から情報教育部門に着任した森祥寛（もりよしひろ）です。主に、情報教育及びICTを活用した教育方法について研究しております。

多くの方は、ICTを活用した…という「eラーニング」を思い浮かべるのではないのでしょうか。それは正しいのですが、私は「eラーニング」はICTを活用した教育方法の一つであると考えています。そのため、研究へのスタンスとしては、eラーニングを含みつつも、拘らず、様々な情報機器やネットワーク、ソフトウェアを教育に活用する方法について検討するというものになります。

金沢大学では、アカンサスポータルを中心に、学習管理システム、SNS等の様々なシステムが、全学生・教職員がいつでも利用できるように整備されています。またそれらを運用するための組織（FD・ICT教育推進室）も整えられており、全国的に見ても希有な例であると言えます。この環境は、ICTを活用した教育方法について研究するものにとっては非常に理想的なものですので、今後、研究を進めるに当たっては、アカンサスポータル等のシステムを用い、或いはそれに加わるシステムを準備して行っていきたいと考えています。その際には、多くの学生・教職員の方々にもご協力をいただけますと大変助かります。

逆に、このような教育をしてみたい、システムをこのように活用してみたい等のアイデアがありましたらご相談下さい。しっかりとアドバイスができるかどうかは分かりませんが、喜んで協力させていただきます。よろしくお願いします。

C-SIREN

シーサイレン
～緊急時メール配信・連絡システム～

2009年12月現在、新型インフルエンザが全世界的に大流行するといふ非常事態が発生しています。

金沢大学では、万が一の大流行に備えて「C-SIREN」という緊急連絡システムを用意しました。金沢大学及びその近辺で緊急事態が生じた時には、このシステムから本学学生・教職員の皆様宛にメールが送信されます。このメールには、大学からの緊急連絡と、皆様の現状を大学に伝えていただくための、その状態に応じた返信先がつけられています。緊急時のみ送られてくるメールですので、いざという時には、迷わず返信するようにしてください。

◆メールアドレス登録方法

このメールの送信先（メールアドレス）は、皆様に登録していただく仕組みになっています。登録は、

- (1) アカンサスポータルに初めてログインした時、
- (2) アカンサスポータルログイン後の「個人設定」

から行えます。なお、登録するメールアドレスには、緊急時にどこにいても受け取ることのできるもの（携帯電話のメールアドレス）にすることを勧めます。

- ※ 携帯電話のメールアドレスを登録した場合は、各携帯電話のフィルター機能等で「迷惑メール」にならないように設定し直して下さい。
- ※ ここで登録していただくメールアドレスには、緊急時の連絡以外のメールが送られることはありません。

新任スタッフあいさつ：北口 善明 助教

去る10月1日から当センター情報基盤部門助教として着任した北口善明（きたぐちよしあき）です。着任前は株式会社インテックでネットワークの運用に関する研究や開発に従事しており、特にIPv6（Internet Protocol version 6）の研究開発や普及推進に努めてまいりました。

このIPv6には10年以上関わってきているのですが、なかなか本格的な運用には至っていないのが現状です。しかし現在利用されているIPv4は未割り当てのアドレスが残り少なくなってきており、インターネット利用が今後も同じように拡大して行くとすると、3年後には在庫が尽きると予想されています。重要な社会インフラとなったインターネットの発展が阻害されないためにも、IPv6の本格運用は急務の課題であり、IPv6によるネットワーク運用時の課題を解決することが現在の研究テーマの一つとしています。

当センターでは、これからの金沢大学のキャンパスネットワーク更新において、積極的にIPv6対応を進めていくことにしています。IPv6対応は現状のIPv4との同時運用となるため、ネットワーク運用における効率化が最大の鍵になります。また、合わせてセキュリティの強化を引き続き行いますが、ネットワークの利便性が損なわれないように新しい技術を投入しつつ改善する必要があると考えています。

IPv6による新しいネットワークに関しては、利用者の皆様からのご意見もいただきながら、新しい利用方法の検討も進め、次世代ネットワーク運用技術の発展に寄与してゆきたいと考えています。